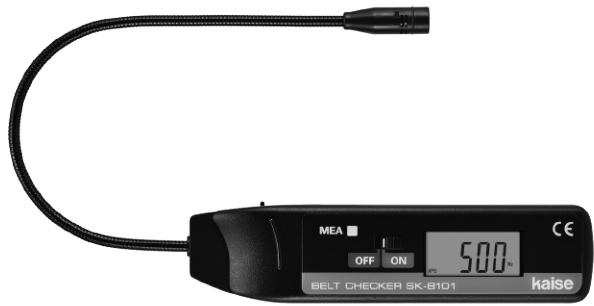


kaise

# ベルト周波数チェッカー

取扱説明書(保証書付)

SK-8101



カイセ株式会社

## 安全な測定をするために!!

本製品を安全にご使用いただくために、取扱説明書をよく読んでからご使用ください。取扱説明書内の△記号の付いている箇所は特に重要です。



この記号はIEC規格およびISO規格に定められている記号で、**説明書をよく読んでから本製品をご使用ください**ということを表しています。



この表示はその内容を守らずに誤った取り扱いをすると、**人が死亡または重傷を負う可能性がある**ことを示しています。



この表示はその内容を守らずに誤った取り扱いをすると、**人が負傷したり物的損害を発生させる可能性がある**ことを示しています。

## はじめに

このたびは、カイセのベルト周波数チェッカーSK-8101をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の十分な活用と安全な測定のため、取扱説明書はいつも手元に置き、よくお読みいただいたうえでご使用ください。

## 1. 包装内容の確認

製品包装の中には次のものが入っています。万一、不具合や付属品の欠品などがありましたら、販売店または弊社までご連絡ください。

- 1. ベルト周波数チェッカー本体.....1台
- 2. 単3形乾電池(1.5V R6P).....2本
- 3. 取扱説明書.....1枚

## 2. 仕様

### 2-1. 一般仕様

- 1. 表示板(LCD)：
  - 数字表示："8888" 文字高12mm
  - 単位およびサイン：Hz、BAT、APO
- 2. 動作原理：ベルトをはじいた時の音を音波センサーで拾い周波数を測定
- 3. 電源ON/OFF：スライドスイッチ
- 4. 測定キー：プッシュスイッチ
- 5. 電池消費表示：約2.2V以下で "BAT" 表示
- 6. 感度調整：測定キーを押しながら電源をONにすることで、感度をLとHから選択
- 7. 使用温・湿度：0℃～40℃、80%RH以下(ただし結露のないこと)
- 8. 保存温・湿度：-20℃～60℃、70%RH以下(ただし結露のないこと)
- 9. 電源：1.5V R6P(単3)電池2本
- 10. 消費電流：約15mA(3V時)、オートパワーオフ時:2μA以下
- 11. 連続動作時間：約50時間(マンガン電池)、約150時間(アルカリ電池)
- 12. オートパワーオフ機能：最終操作後約5分で自動的に電源OFF(解除不可)
- 13. 安全基準：CEマーク認証(EN61326-1)
- 14. 寸法：本体 約170(H)×約42(W)×約30(D)mm、センサー長 約300mm
- 15. 質量：約130g(電池含まず)
- 16. 付属品：単3形乾電池(1.5V R6P)2本、取扱説明書

### 2-2. 測定仕様

(0℃～40℃、80%RH以下、ただし結露のないこと)

	測定範囲	分解能	測定精度
周波数	50Hz～500Hz	1Hz	±1%rdg±2dgt

## 3.安全測定と使用上の注意



警告

- 車両のエンジンが始動した状態および高温の状態では本製品を使用しないでください。けがや故障の原因となります。
- ぬれた手で電池の取り付け、交換を行わないでください。感電の原因となります。
- 小さいお子様の手の届かない場所で使用、保管してください。
- 分解や改造はしないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。



注意

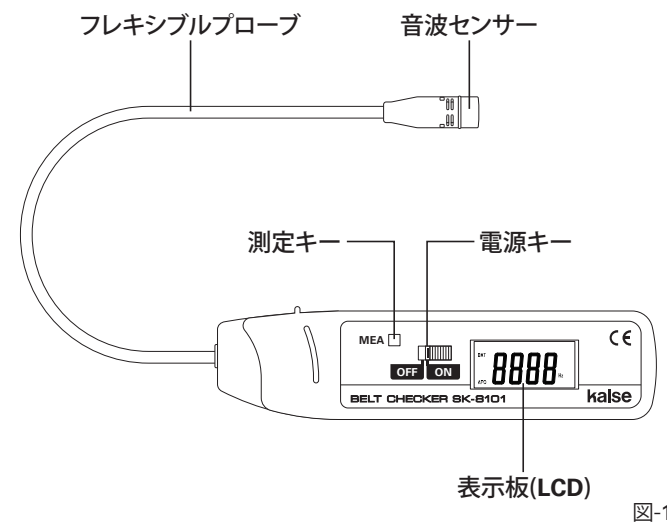
- 本製品を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
- 本製品は防水されていませんので、水に濡らさないでください。
- アルコールを含む液体で本製品をふかないでください。変色やひび割れの原因となります。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。消耗した電池を内蔵したまま放置すると、電解液が漏出して内部を腐食することがあります。
- 指定以外の電池を使用しないでください。
- 電池を取り付けるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意してください。
- 電池を廃棄する場合は、プラス⊕・マイナス⊖端子にテープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

### 保管場所について

下記の場所には保管しないでください。

- 水のかかるところ
- 強い衝撃が加わるところ
- 気温-20℃以下60℃以上、湿度70%以上のところ
- 結露のあるところ
- 直射日光のあたるところ

## 4.各部の名称と機能



### 4-1. 表示板(LCD)



- Hz : 単位
- BAT : 電池消耗時点灯
- APO : オートパワーオフ

### 4-2. フレキシブルプローブ

- 測定時フレキシブルプローブを曲げて、音波センサーの位置を調整します。

### 4-3. 音波センサー

- 測定時、音波センサーをベルト中心位置に近づけて測定します。

### 4-4. 測定キー

- 電源ON時にこのキーを押すと測定待機状態となります。
- このキーを押しながら電源をONにすると、測定感度を調整できます。

### 4-5. 電源キー

- このキーをONの位置に合わせると電源がONになり、OFFの位置に合わせると電源がOFFになります。

※使用後は電源キーをOFFにしてください。

## 5.測定方法

### 5-1. 測定準備

- 取扱説明書の精読 △

本製品の測定仕様と機能を充分理解し、「3. 安全測定と使用上の注意」を良く読んで安全な測定をしてください。

- 電池の設置

「6-1.電池の交換」を参照して1.5V R6P(単3)電池2本を入れてください。

"BAT" が点灯した時も同様の手順で交換してください。

※付属電池は新品ですが自然放電している場合があります。

その場合は新しい電池に交換してください。

## 品質保証書

MODEL SK-8101	Serial No.
品質保証期間 購入日 年 月 日から1カ年 ※ただし、センサー部(音波センサー/フレキシブルプローブ)は6ヶ月	
販売代理店および所在地	
印	

※品質保証期間中に正常な使用状態で、万一故障などが生じた場合は、裏面記載の品質保証規定により無償で修理いたします。製品にこの品質保証書を添えて、上記販売代理店、または直接カイセ株式会社 製造サービス課へご送付ください。

※購入年月日は販売代理店が記入します。販売代理店名およびその押印なき品質保証書は無効となりますので、購入時に確認してください。

カイセ株式会社

〒386-0156 長野県上田市林之郷422 電話 0268-35-1600(代表)

●オートパワーオフ機能

最終操作後、約5分で自動的に表示が消えてパワーオフの状態になります。

※オートパワーオフ中でもわずかに電流を消費しますので測定終了後は必ず電源をOFFにしてください。

5-2. 周波数測定

- ①車両のエンジンが停止していることを確認します。
- ②電源キーをONにします。LCDが下記のように表示されます。

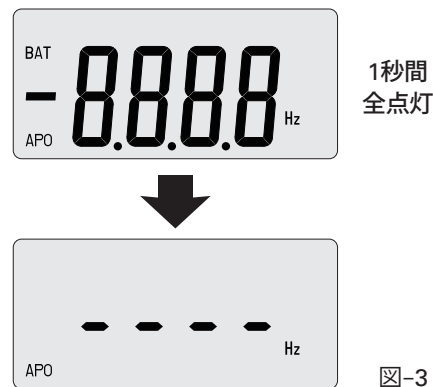


図-3

- ③測定車両のベルト中心付近に、音波センサーが垂直になるように位置を合わせます。

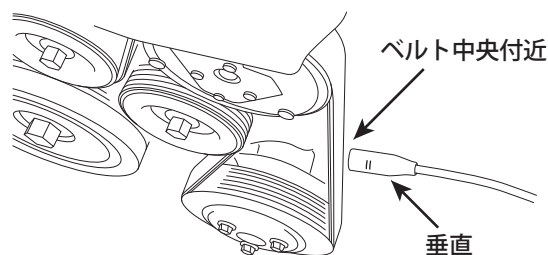


図-4

- ④測定キーを押します。LCD表示が点滅になり、測定待機状態となります。

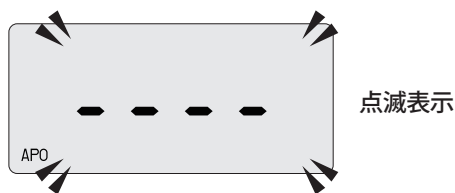


図-5

- ⑤ベルトの音波センサー付近を指ではじきます。このとき音波センサーがベルトに接触しないようにしてください。測定結果を読み取ります。

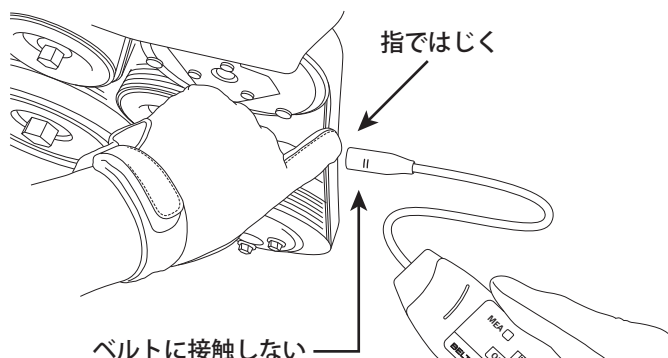


図-6

※測定範囲は50～500Hzまでです。測定値が測定範囲外の場合、LCD表示は④の状態になります。

測定値が表示されない場合は、下記の手順で感度をH(High)に調整してください。

- ①測定キーを押しながら電源をONにします。
- ②LCDが下記のように表示されますので、測定キーを押して"SL H"にします。

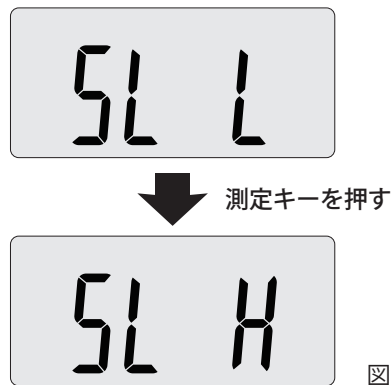


図-7

- ③測定キーを1秒以上長押しすると設定が完了します。  
※電源をOFFにすると、感度は初期設定のL(Low)に戻ります。

- ⑥使用後は電源をOFFにしてください。

6. 保守管理

6-1. 電池の交換

**警告**

- ぬれた手で電池の交換を行わないでください。感電の原因となります。
- 電源は必ずOFFにしてください。

使用している電池が消耗して表示板(LCD)に "BAT" が点灯したら、次の手順で電池を交換してください。

- ①測定を終了し、電源をOFFにします。
- ②本体背面のネジをゆるめて電池カバーを外し、使用済み電池を取り外します。
- ③電池の極性に注意して新しい1.5V R6P(単3)電池2本を入れます。
- ④電池カバーを取り付け、しっかりとネジを締めます。

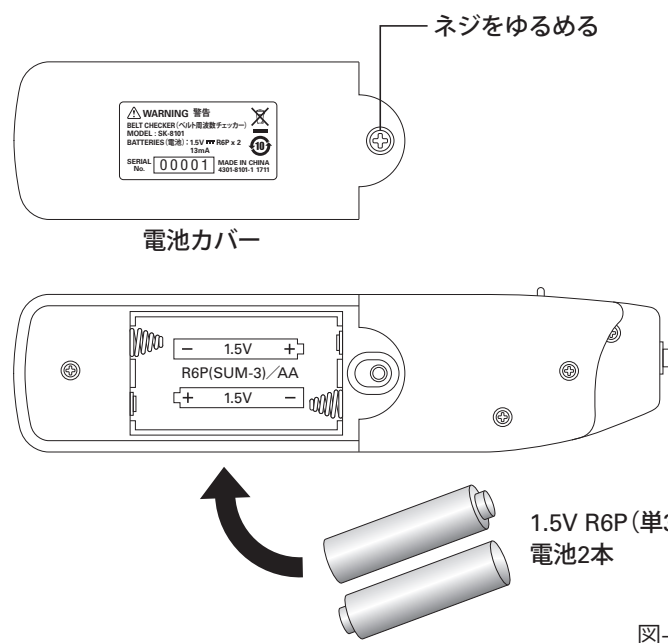


図-8

**注意**

- 長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。消耗した電池を内蔵したまま放置すると、電解液が漏出して内部を腐食することがあります。

6-2. 定期的点検・校正

安全で正確な測定を維持するためには定期的な点検・校正が必要です。

本製品は、通常の使用で1年以上許容誤差内の精度を維持できるよう製造されていますが、少なくとも1年に1回は定期的に点検・校正をしてください。点検・校正は製造元へ依頼されるのが確実な方法です。

6-3. 修理

本製品が正常な動作をせず修理を依頼される場合には、事前に次の点検をして故障を確認してください。

1. 電池が接触不良となっていないか。電池の極性が間違っていないか。
2. 電池が消耗していないか。  
(消耗すると表示板(LCD)に "BAT" が点灯します。)
3. 測定入力为本製品の規定レンジ以内であるか。
4. 使用環境内における測定精度であるか。
5. 本体にひび、割れなど損傷がないか。

以上の点検を通して故障であることが確認できましたら、修理を依頼してください。

修理は販売店へ依頼されても結構ですが、弊社の製造サービス課宛へ直送されますと修理期間も短縮されます。直送される場合、品質保証書に購入年月日、販売代理店名および所在地が記入されているか確認し、または購入時のレシートを添え、「修理依頼」に故障の症状と原因を記入し、切り離して修理品と一緒に送ってください。この品質保証書の添付がないと、修理はお受けできませんので、ご了承ください。お送りいただく小包には、「修理品在中」と記し、住所、氏名、電話番号も忘れずに明記してください。修理完了後に代金引換小包便にて返送いたします。

お問い合わせ・修理品の送付先

**カイセ株式会社**

製造サービス課  
〒386-0156 長野県上田市林之郷422  
TEL(0268)35-1602 / FAX(0268)35-5515  
Email : service@kaise.com

品質保証規定

品質保証期間中に説明書に則った正しい使用状態において、万一故障が生じた場合には、無償で修理いたします。ただし、下記事項に該当する故障・破損は無償修理の対象から除外し、有償修理となります。

記

1. 取扱説明書に基づかない不適当な取り扱い、または使用による故障。
2. カイセ特約サービス代理店、または当社サービス部門以外でなされた修理または改造に起因する故障。
3. お買い上げ後の輸送または落下などによって生じた故障。
4. 火災、水害、地震など天災地変によって生じた故障・破損。
5. 電池の消耗(自然放電を含む)など、消耗部品の補充または取り換え。
6. 品質保証書の提出がない場合。
7. その他、当社の責任とみなされない故障。
8. 本証明書は日本国内においてのみ有効です。

修理依頼	年	月	日
故障の症状 故障の原因 (わかったら)			